

○ ゴミシ（五味子）

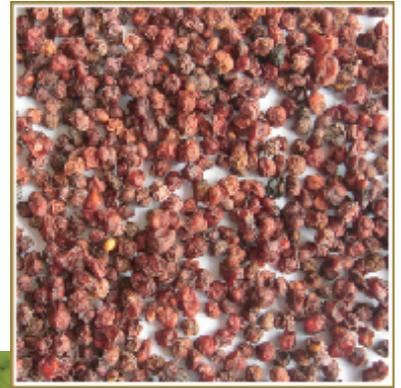


photo by VoDeTan2 CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

語源

五味子の名前の由来には以下のような説がある。
 ①甘味、酸味、辛味、塩味、苦味の5つの味がする
 ②果皮および果肉は甘酸っぱく、核は辛くて苦く、全体的に塩味がある、つまり五味子の果実の部分によって味が異なる
 ③口にしてからの時間差で味が変わる、もしくは飲む人によって、また飲む日によって違う味に感じられる

この五味子を用いたお茶（五味子茶）は、韓国の伝統茶であり、ハングルでは「オミジャチャ」である。

基原

マツブサ科 つる性落葉低木
 チョウセンゴミシ *Schisandra chinensis*

薬用部分

果実

産地

中国、朝鮮、日本

主な薬効

鎮咳、止瀉、滋養、強壮薬として、気管支炎、喘息などの痰の多いもの、下痢などに用いる。

主な成分

リグナン： シザンドリン、ゴミシンA～H など
 精油： α -、 β -チヤミグレン（果肉）、シトラール（種子）
 有機酸： クエン酸、リンゴ酸

代表的処方

主として漢方処方用薬であり、鎮咳去痰薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

【杏蘇散】

キョウソサン
 胃腸虚弱、食欲不振、下痢、易疲労性、手足の冷え、尿量増加に用いられる。
 （処方内容） 紫蘇葉／五味子／大腹皮／烏梅／杏仁／陳皮／桔梗／阿膠／甘草／紫苑

【小青竜湯】

ショウセイリュウトウ
 気管支炎、気管支喘息、鼻水、薄い水様の痰を伴う咳、鼻炎に用いられる。
 （処方内容） 麻黄／桂枝／芍薬／細辛／乾姜／五味子／甘草／半夏

【人参養栄湯】

ニンジンヨウエイトウ
 病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、寝汗、手足の冷え、貧血などに用いられる。
 （処方内容） 人参／桂枝／当帰／黄耆／芍薬／陳皮／地黄／遠志／朮／五味子／茯苓／甘草

文献報告

【脂肪肝抑制】

Schisandrin B from *Schisandra chinensis* reduces hepatic lipid contents in hypercholesterolaemic mice.

J Pharm Pharmacol. 2008, 60, 399-403

【血流改善】

The mechanism of vasorelaxation induced by *Schisandra chinensis* extract in rat thoracic aorta.

J Ethnopharmacol. 2009, 121, 69-73

※参考文献：「生薬単」「漢方のくすりの事典」「漢方実用大事典」「日本薬局方」「漢方マニュアル」「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
 TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
 URL：www.fukudaryu.co.jp